

菲島部隊軍人軍属戦没認定資料

南西方面艦隊残務整理班

第一部 総論

一 戦没認定の必要性

(一) 菲島部隊海軍軍人軍属 戦没認定ハ甚ク困難ナル  
 抑、菲島方面前在海軍部隊ハ敵ノ進攻ニ備ヘ複雑ナ領域ノ各地  
 ニ亘リ多数ノ部隊カ既備セラレ其ノ各部隊カ派遣隊乃至分遣隊  
 ヲ各要所ニ派遣スル等小部隊ニ分散セラレタ  
 十九年十月下旬米軍ロレイテニ進攻後コレイテ並ハルソンニ向テ内地  
 カラハ増勢部隊ハ激増シタカ之等各部隊ハ到着後人事関係ハ勿  
 論其ノ他ノ書類ヲ整理スル暇モナク配備ニ着キタコレイテニ引續キ  
 二十年一月上旬ソリンガエニ米軍上陸後我が軍ハ各所ニ撃破セラレ  
 山中ニ入ッテ持久戦ヲ蒙リタカ飛行機ニ對スル隠蔽ノ必要ト糧食

不足ハ大部隊ノ集結ヲ不可能ニシタ  
 分散シタ小部隊ハ糧食ヲ求テ自然遠ク迄出カケルコトニナリ加フルニ  
 兵員ノ体力消耗ト「マラヤ」ノ猛威ハ漸次相互ノ連絡ヲ悪クシタ  
 其ノ間「マリ」ト交戦全滅シタモ、カ多カツタ  
 又「ク」ノ防衛部隊「マ」ノ防衛部隊等テハ麾下各隊ノ個有  
 編制ヲ解キ新ニ陸戦隊ヲ編成シテ随ツテ隊長ヲ個有ノ隊員  
 カラ離サシタモ、多ク隊員ノ消息ノ捉ハ様ガナクナツタ就中隊長  
 ガ戦死シタ部隊ハ全ク隊員相互ノ連絡ナク生還シタ下士官兵ニ  
 同隊員ノ安否ヲ尋ネテモ殆んど改編後ノ事情ヲ知ラナイ随ッ  
 テ何レノ所轄カ又誰ガ何隊ノ整理ヲ担當シナケレバナラナイカ判  
 断ニ苦シム狀況ナル各所轄ハ米軍ノ進攻前総員名簿ヲ作製  
 シ中央並ニ各鎮人事部ニ送り俸給全額家族渡ヲ電請シタコト  
 内地ニ然ラシト安心感ト玉碎ヲ覚悟シテ絶望感ガ消耗品

1838

ノ不足ト相俟ツテ現地テ、整理ヲ等閑ニ附セシメタコトモ、否、ナシ。  
終戦後各部隊ニ於テ、當時直接掌握シテ其ノ者ノ名簿ヲ作製  
シタガ分散シテ連絡ノ執レナカクテ、部隊ノ分遣ノ手が及バナカクソレテ  
收容所ニ入ル途中及入ル時名簿ヲ他ノ所持品ト共ニ奪ハレ若シクハ  
焼却セラレタルモノガ多カクテ、收容所ニ於テ、米軍ハ先ツ部隊ノ編制ヲ  
解キ士官ト下士官兵軍属ノニ團體ニ截然トシテ區別シ陸海軍  
ノ區別セズ姓名ヲ總テ「アルファベット」ニ類別シ數十ノ收容所ニ分  
散收容シテソレテ各收容所間ノ交通ヲ禁ジタ  
他方戦地部隊ノ全幅ノ信賴ヲ置イテ其ノ各鎮人事部長、実情ハ  
十九年九月頃以後ノ履歷ノ記入ヲ行ワテ居ラズ最モ重要ノ配員  
原簿及現地ヨリ送付シテ名簿其他ヲ終戦時ニ焼却若シクハ  
亡失シテ居タ、経理部ニ於テモ家族渡原簿ハ整備サレテ居ラズ  
十九年末ニ内地ヲ出發シテ部隊ガ手續シテ行ツテ原簿スラ

1839

ソノ大半ヲ失ツテ了ツテ升タ。ジカモ、コノ不備ヲ補フ為ニ構ハシテ手  
段ガ何ヲ見ルベキ成果ヲ掌ゲ得ナカッタ。

以上ノ如キ状況ヲ總員名簿ハ勿論、戦歿者名簿、生存者名  
簿、整備ノ仕様が無ク辛ウシテ、帰還者、持帰ルモノイ書  
類、記憶ニ基ク整理ヲ行ツタニ過キナイ。随ツテ戦歿ノ確認セ  
レタ者ノ数ハ極メテ少ク、約ニ万ノ軍人軍属ハソノ最後ガ不明

儘

(二) 出征軍人軍属、家族ハ非島ニ若干テモ未復員者ガ残留スル  
間ハ絶対ニ生還ノ希望ヲ捨テズ、不安ト焦慮ヲ此カノ手當  
ヲ求メテモ、消息ヲ知ラントスル努力カニ紛ラセテ升ルガ、非島ノ復員ガ  
完了レタ時、曉ハ望、網ヲ切ラレ、年餘ニ亘ル苦勞ニ対スル松鬱憤ガ  
爆発シ、重火ヲ社會問題トナルコトハ、火ヲ見ルヨリモ明カデア  
ル。際復員當局、処置ガ妥當テナイナラバ、忽チニ威信ヲ失墜レ

非難的トナル之ヲ防グ唯一道ハ不明者ノ戦歿認定ヲ速ニ行

フニ在ルト信ズル

二戦歿認定ニ必要ト資料

戦歿認定ハ人的物的ニ凡有ル方法ヲ以テ關係資料ヲ蒐集之ヲ行  
マラ要スル而シテ之ガ処理ハ成リ得ル限リ資料ヲ以テ慎重正確ヲ

主トシ且迅速ヲ期スルヲ旨トスルハ勿論ナル

認定ニ認定者ノ判断ノ基礎トナル物的資料即チ正確ナル資料

ノ蒐集整備ガ最モ重要ナルコトハ自明ナルカ人的資料即チ

優秀ナル認定者ヲ得ルコトハ絶対必要ナルシカモ主観ニ迷ハサレ

ズ正確ナル判断ヲ下ス為ニ當事者總ヲガ菲島部隊ニ関スルエキスパート

ナルコトガ望マシム

資料ハ第ニ復員局 各地方復員局 及南西方面艦隊残務整理班ニ  
於テ整理シ得ルトシテ 現在最モソノ缺點ガ痛感セラルルハ復員當

局、菲島方面部隊狀況一般ニ関スル知識、低劣ナル現在迄ニ  
當班ニ於テ調劑送付セル資料ヲ熟讀シテ菲島部隊ノ諸事情  
ニ精通セル「エクスパート」ヲ作ルコトガ現在最モ肝要デアル  
戰歿認定ヲ行フ為ニ必要ナル資料及リ、運用ハ大凡次ノ如クデアル

(一) 人的資料

(1) 第一復員局及各地方復員局、各戰歿関係主務担当者

(2) 菲島方面ヨリ帰還セル所轄長若シクハソレニ代ルキ者ヲ残骸カ救ヒ理ヲ  
行ツタ者

(3) 残骸カ整理ヲ行ハナイガ各自ノ配備地区ノ狀況ニ精シイ者

(4) 所轄長乃至部隊長戰死セル部隊ニツイテハ南西方面艦隊残骸カ整  
理班戰歿係主務カ者

(二) 物的資料

(1) 在菲島部隊各艦未帰還者名簿乃至配買名簿

(四) 在菲島部隊帰還者名簿

(三) 在菲島部隊准士官以上未帰還者名簿

(二) 帰還者調書

(一) 戦歿並ニ生存者名簿

(八) 各所轄残務整理員報告書及戦歿報告

(七) 帰還者申告書並ニ報告及提出書類

(六) 南西方面艦隊残務整理資料 (五冊)

(五) 各地方在籍部調査ニ依ル在菲島部隊各廳未帰還者名簿

別ニ既ニ帰還シテ申ルガ申告乃至報告ヲ為シテ居ラヌ者ニ対シテハ第一ニ

復員局ニ依頼シテラテオレニ依リ當班宛提出方放送者ナル

三 戦歿認定ニ対シテ執ルベキ処置

(一) 戦歿認定段階

士官ハソノ性質上大体認定ノ目途立ケタルモ准士官下士官兵

7

軍属ハ甚ク分明ナシ。帰還者推定約一五〇〇。残務整理員及  
帰還者ノ戦歿報告約三〇〇。トシテモ二〇〇。乃至二五〇。ノ行方  
不明者カ出来ル之ハ誰モ未ダソノ戦歿ヲ見届ケナイモ、テアルコノ  
殆ト全部カ下士官兵軍属ニアル。從ツテ今ヤ残務整理乃至戦  
歿認定ノ対象ハ下士官兵軍属ニ移ツテ弁ルト言ハネバナラヌ。

(二) 戦歿認定ノ具体的方法

第二項ニ述ベタ資料ヲ活用シテ現在如何ニ戦歿報告ヲ為シ戦  
歿認定ヲ行ヒツ、アリ又將來行ハントスルカ、ソノ具体的方法トシテ、

當班ハ次ノ如ク処置セリト欲スル

(1) 復員船入港地ニ連絡員ヲ派シ帰還者調書ニ依リ部隊編制  
戦斗状況等ヲ調査シ戦歿並ニ生存者名簿ニ依ツテ戦歿者ヲ  
明ラカニシ後者ハ直ニ戦歿報告ヲ提出スル。現在名古屋ニ復員  
船入港レツ、アリ十一月中旬迄ニ合計十一隻又海軍関係約一六〇。

名ニ就テ調査セリ爾後引揚終了迄之ヲ繼續スル(南西方面  
艦隊残骸ヲ救ヒ理班主トシテ担任)

(四) 各地方復員局ニ於テ調製セラルル在菲島部隊未帰還者名簿  
乃至配員名簿ト全帰還者名簿及現在迄提出セラルル戦歿  
報告トヲ照合シ後者ヲ抹消完全ナル未帰還者名簿ヲ作製  
スル(各地方復員局担任)

(三) 認定ニ必要ナル資料ハ各方面別部隊別ニ救ヒ理スル  
之ハ本冊各説ノ部ニ畧述スルガ認定年月日ヲ決定ニツイテハ原  
則トシテ次記ニ依ル

(一) 未帰還者ハ先ヅ方面別部隊別ニ分類シ該方面ノ戦斗ニ於テ其ノ  
部隊ノ被害最大ノ日若シクハ所轄長乃至隊長戦死ノ日ヲ以テ  
認定スル

(二) 方面別ハ判明スルモ部隊名明カラザルモノハ(コノ例ハ甚少ト思考ス)

該方面部隊、最後の転進、日ヲ以テ認定ス

(3) 部隊別判明スルモ、方面別判明セザルモ、就テハ極力方面別ヲ調査スルモ、當該部隊、本隊、在リタル方面、戦死認定日ヲ以テ行フ

(4) 單ニ菲島方面トシテ判明シ方面別及部隊名不明モ、ハ最後迄残シ徹底的調査ヲ行ヒ、上関係各廳ニ於テ最後、打合(戦死認定會議)ヲ行ヒ、其ノ都度決定ス

(5) 菲島へ赴ク途中海没シテ部隊ハ便乗艦船名及何ト方面へ何日何ナル部隊ヲ積リ出港シタカテ極力調査シ決定ス而シテ尚且不明トシテハ認定會議ニテ決定ス

(二) 若干ノ所轄ヲ除キ完全ニ戦死報告ヲ爲シタルモ、殆ド無キヲ以テ  
(1) 残骸ヲ救理ヲ行フル部隊、未帰還者ニ関シテハ残骸ヲ救理責任者ガ認定ヲ行フ

(2) 残務整理ヲ行ハルモ責任ヲ執ルベキ地位ニアル准士官以上帰還セル部隊ノ未帰還者ノ認定ハ當該士官ニ認定サセル

(3) 所轄長乃至部隊長ハ勿論准士官以上帰還セザル部隊ハ第二復員局乃至各地方復員局ガ認定スル南西方面艦隊残務整理班ハ之ニ協力スル

(4) 認定ニ必要ナ資料ハ總テ南西方面艦隊残務整理班ニ一括備ヘ置キ適宜之ヲ利用スル而シテ各認定者ハ第二復員局長官乃至各地方復員局長官ニ提出スル正式報告書類一寫一通ヲ必ズ南西方面艦隊残務整理班ニ送付シ過誤ヲ避ケル

#### 四 戦歿認定會議

第三項ニ述ベタル如キ方法ニ戦歿認定ヲ行フニハ戦歿認定會議ヲ行フガ捷徑ナル十一月十五日第二復員局人事部主催ノ第一回戦歿認定會議が當班ニ於テ開カレタ各関係官ノ意見南陳

並ニ討論ハ僅カ一日、固ニ戰歿認定ノ根本的態度、決定ノ所要  
資料整備ノ促進算見レベキ成果ガアツタ  
今後固ヨ重ネ具體的ニ各所轄軍人軍属ノ個々人ニ就テ戰歿  
認定ガ行ハレルヲバ各殘務整理責任者ノ紙上ニヨリ報告ヲ俟タズ  
シテ短時日ニ多數ノ戰歿ヲ直ニ料理ケレ相當ノ努力ガ以即約サレ  
加フルニ從來稍トモスレバ陥入り綏タツタ第一復員局各地方復員  
局向更ニ南西方面艦隊殘務整理班向、縱横ノ連絡ノ缺如ヲ  
補フコトガ出来ル  
戰歿認定會議ハ第一復員局人事部主催ノ下ニ各地方復員局  
南係官、南西方面艦隊殘務整理班、菲島部隊殘務整理班各  
責任者ガ列席シテ議事ヲ進行セムレバ多大ノ成果ヲ期待シ得ル  
ソノ主ナル目的ハ、狀況不明ナル部隊及軍人軍属ノ戰歿年月日  
ヲ決定スルニ在ル

五戰殲認定ニ関スル南西方面艦隊残務整理班ノ希望

(一)各地方復員局ニ菲島方面残務整理班ヲ設置スルコト

(二)第一項カラ第四項ニ直ツテ速ベクトコロヲ見テ明カナル如ク認定資料

ノ整備ハ重大問題デアリ。仕事ノ量モ大デアリ。從來各地方復

員局ニ設置セラレタル残務整理係ノ仕事ハ残務整理員ノ身上

取扱或ハ残務整理班ト事務上ノ連絡トイフ消極的ノ面ノミテ

アル。今後ハ積極的ノ面即チ戦殲認定ヲ行ヒ戦殲認定會議ヲ

決定事項(例ハ戦殲認定アツクモイフ直チニ公報スル)ヲ速ニ処理

セネバナラヌ。菲島ニ対スル専門的知識ト事務的能率ガ必要トナル

(四)菲島ノ復員ハ十二月末ニ完了スルガ南西方面艦隊残務整理班ハ據

トモ来年三月迄ニ残務整理ノ大部ヲ終了。應打切ルソノ際

若干ノ残務ハ如何シテモ各地方復員局ニ於テ担當シテ世員ハナラヌ

複雑多岐ノ菲島方面残務整理ハ其ノ場ニ行キ當ツテカラテハ容易ナ

13

右ノニ大理由カラ是非トモ積極的機能ヲ發揮シ得ル機關ヲ速刻設置セラシムコトヲ望ムモノデアリ

(二) 積極的意見ノ南陳

菲島方面残務整理班ガ設置サレバ永解スルコトデアルガ現在迄積極的ニ當班ニ對シ或ハ菲島部隊ノ残務救理ニ関シ調査ヲ進メ意見ヲ速ベラシムコト聞カヌ叱咤鞭撻ヲ願ヒ度イ

(三) 給與南係ノ処理

當班ニ於テハ戰歿認定ニ主カシ注イテ斗ル南係上給與ニ逆手が廻ラヌ狀況デアル各地方復員局經理部ハ人事部ト密接ト連絡ヲ執リ戰歿認定アレバ直チニ未松給與ノ精算ヨスルヤウ処置セラレ度イ之モ菲島方面残務救理班設置セラレ給與南係モ一元的ニ処理スルヤウセラルベク問題ハ無クナル

(終)